

徳富ダム建設工事共同事業者連携会議（第12回） 議事要旨

日 時 平成24年7月10日（火）

場 所 札幌開発建設部 分庁舎A会議室

出席者

◎共同事業者

○河川総合開発事業

北海道建設部土木局河川課	課長	久野 顕
北海道空知総合振興局札幌建設管理部事業室	室長	岸 純太郎

○国営かんがい排水事業

北海道開発局農業水産部農業整備課	(課長	山岡 敏彦)
	代理	宮崎 晃
北海道開発局札幌開発建設部農業整備課	課長	佐藤 修児
北海道開発局札幌開発建設部樺戸農業開発事業所	所長	松田 俊之

○水道事業

西空知広域水道企業団	事務局長	梶野 尚夫
------------	------	-------

◎道関係部局

北海道農政部農村振興局農村計画課国営調整担当課長	三谷 正彦
北海道環境生活部環境局環境推進課 水道担当課長	増本 弘次

◎地元自治体

月形町産業課	(課長	久慈 富貴)
	代理	小蕎 孝之
浦臼町産業建設課	課長	加賀谷隆彦
新十津川町建設課	(課長	三谷 和弘)
	代理	高橋 正彦
雨竜町産業建設課	課長	菅原 明睦

【議事録要旨】

開会 〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所 池田副長〕

予定の時刻となりましたので、ただ今から第12回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を開催いたします。

私は、運営事務局札幌開発建設部樺戸農業開発事業所副長の池田と申します。よろしくお願ひします。議事次第に従って進めさせていただきます。

始めに、会則の改正についてですが、資料の7～9ページに会議会則（案）を添付しております。今年度については組織改正等の変更がございませんでしたので、会則の改正はないことを事務局会議で確認いたしましたのでご報告いたします。

会則につきまして構成員方々の合意を得て承認したいと思います。

如何でしょうか。

――異議なしの声――

これを持ちまして「徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 会議会則（案）」の改正について、案のとおり合意を得られ現行通りとすることになりました。

それでは、当連携会議の座長であります北海道開発局札幌開発建設部農業整備課佐藤課長の進行により、会議を進めさせていただきたいと思ひます。

1 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 座長挨拶 〔北海道開発局 札幌開発建設部 農業整備課 佐藤課長〕

〔挨拶概要〕

この徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、徳富ダムにおける共同事業の実施に関する事項において、関係機関の情報交換を相互に行い、事業の円滑な推進を図ることを目的に、平成18年4月を第1回とし今回で第12回目の開催となっております。

今回の連携会議では、事業の状況と今後の見通しについて、平成24年度の実施計画概要、事業に関連した地元地域の動静について情報交換並びに調整を行いたいと考えています。

なお、本会議における情報公開については、従来と同様に会議が行政機関のみの参集であることから、会議自体は非公開として扱わせていただきますが、議事内容・配布資料につきましては、札幌開発建設部のホームページを始め、共同事業者等のホームページからリンクする他、関係自治体への情報公開に努めたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

2 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 出席者紹介

3 共同事業者相互の調整

(1) 事業の状況と今後の見通しについて

〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所 池田副長〕

徳富ダムは、平成14年度から本体工事を開始し、平成16年度から堤体コンクリートの打設を進め、あわせて実施してきた浸透対策につきまして地質調査を行いながら進めてきたところです。

現在、ダム上流部の浸透対策も技術的な専門機関や関係機関と対策工法、範囲などについて協議がほぼ終わり、今年中に工事を完成させるよう集中的に工事を進めているところです。

今後は、現場の安全管理と工程管理を行いつつ、平成24年度末に試験湛水を開始できるよう対策工事及び各種協議関係を促進しています。

〔北海道 札幌建設管理部 滝川出張所 川瀬主幹〕

工事と併せてダム完成に向けて、これまでに設計の考え方・施工結果、環境に配慮した対策の評価など専門機関と協議を進めています。また、徳富ダムは平成26年度から北海道が管理を行う予定となっており、管理概要も含め費用の検討を行っている状況にあります。

事業の状況と今後の見通しについては、事前に事務局会議において報告を行っており、共同事業者並びに関係各位にご理解とご協力をお願いしているところです。

(2) 平成24年度 実施計画概要

○河川総合開発事業〔北海道 札幌建設管理部 滝川出張所 川瀬主幹〕

平成23年度の主な事業内容は、貯水池管理のための係船設備を整備してきました。

平成24年度については、貯水池の付属設備であります流木止設備工事を予

定しており、本工事と調整を図りながら進めてまいります。

[…平成24年度 実施計画概要へ〔資料-P1,3〕](#)

- 国営かんがい排水事業〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所池田副長〕
徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う国営かんがい排水事業樺戸（二期）地区は、早期の完了に向けて鋭意事業を進めております。
昨年度に引き続き、平成24年度についても浸透対策工を重点的に進めると共に周辺整備工等を実施しています。また、年度末に開始を予定している試験湛水に向けて関係機関と協議を促進することとしています。

試験湛水計画概要

1. 目的

ダムの完成に向けて、試験的に水位をサーチャージ水位まで上昇及び下降させ、ダム本体、基礎地盤、貯水池周辺等の安全性を確認する。

2. 予定時期

平成25年2月1日からの堤内仮排水路閉塞ゲートの締切を行い、最高水位（サーチャージ水位EL. 313.4m）まで水位を上昇させた後、常時満水位（EL. 306.5m）まで水位を低下させる予定であり、ダム本体及び貯水池の状況を点検、各種の試験及び調査測定をして安全を確認し試験湛水を終了する。（概ね6月中旬）

[…平成24年度 実施計画概要へ〔資料-P1,2,4〕](#)

- 水道事業〔西空知広域水道企業団 石本技術長〕
西空知広域水道事業は、平成7年に事業認可を受け、第4次拡張事業を実施しています。平成20年度までに第4次拡張事業に係る水道施設工事は完了しております。

[…平成24年度 実施計画概要へ〔資料-P1,5〕](#)

(3) 事業に関連した地元地域の動静について

①月形町〔産業建設課長 代理 小蕎係長〕

○関連事業

国営樺戸地区の事業において、浦臼町の一部を含む月形町札比内北側の札豊地区の用水施設等の再編整備が行われることに伴い、関連事業として支線用排水路の整備、併せて地域内の区画整理・暗渠排水・客土工事を実施し、農業生産性の向上・優良農地の集積を図ることとし、平成22年度より道営土地改良事業として着手し、平成26年度の完成を目指し進めております。

○農業関連

平成23年11月からの記録的な大雪により、育苗・栽培用のビニールハウスの約6割に被害が生じたことから、農業生産の5割弱を占める施設園芸において定植作業が行えず、作付け面積が前年比1割程度減少しています。

雪解けの遅れや天候不順により、圃場が乾かない状況が続き耕起が遅れるという状態でしたが、水稻は苗の生育が平年並みに回復してきています。また、

小麦・大豆等も含め総体的に、播種作業が遅れ、生育に遅れがでている状況であります。

昨年同様に、天候不順による農産物の品質及び収量の低下による生産額の減少と痛手を受けていることから、今後の生育状況がどう影響を受けるのか不安なところです。

○土地改良事業方針

国の農業予算の影響で、農業農村整備事業等の実施や事業採択に影響が出ている状況ですが、生産性の高い農地の基盤整備は重要であることから、本年も6地区の道営土地改良事業や農業体質強化基盤整備促進事業等により土地改良事業を昨年以上に実施しております。

道のパワーアップ事業等、制度内容を的確に判断した中で支援を行い、月形町の基幹産業としての強い農業づくりを引き続き推進していきます。

②浦臼町〔加賀谷産業建設課長〕

○農業関係

昨年の6月に発生しました取り入れ揚水機場の故障修理の完了、又、国営造成土地改良施設整備事業にて揚水機場が完成し、本年5月より通常に通水が開始され、それにより安定供給が確保され、安定した営農活動がなされている状況にあり、ご支援、ご尽力いただきました皆様に対しあらためて厚くお礼申し上げます。

現在の石狩川の水位をみると、降雨は有りましたが、かなり水位が低い状況となっており、1,300haを受益とする揚水に対する不安又、溪流を主とする不安定な水源に依存している部分も多いことから、農業者が安心して営農活動を行える基盤となる本事業の早期完了を望んでおります。

○農作物の状況

本年の豪雪により融雪遅れが懸念されましたが、春先の好天により融雪が進み、平年並みの播種・耕起・育苗更に、田植えも順調に行われた状況となっております。

ただ、本年の豪雪により育苗ハウス等の倒壊・破損被害も多く見られ、対策に苦慮した状況にあります。

水稻については、天候にも恵まれほぼ成育も順調となっておりますが、少し良すぎ過ぎて病虫害の発生が懸念されている状況となっております。小麦については、成育遅れが少し見受けられている状況となっている。

今後、天候不順等による農作物への影響が気になるところであり、今後も関係機関と連携を図って行きたいと考えております。

○土地改良事業関連

札豊地区農地集積加速化基盤整備事業は、平成26年の事業完了に向け事業実施中となっております。その他、新たな地区の事業化に向け、土地改良区を中心に関係機関と協議を進めているところです。

③新十津川町〔建設課長 代理 高橋主幹〕

新十津川町といたしまして、「水需給の状況」、「農業関係」について報告させていただきます。

○水需給の状況

冬期の降雪量は前年と比べ、2.9m多い844cmと大雪であったが、現状は急速な融雪や6月の小雨のため、期待したほどの貯水量が確保されていない状況です。今後の天候によっては飲料水・営農用水とも渇水の危険性も考えられ、早いダム completion を切望しているところである。

○農業関係

本年度、水稻の作付けは、約3,605[㍉]（主食米3,385[㍉]、政府備蓄米141[㍉]、加工米1[㍉]、酒米78[㍉]）であり、生育状況は大雪の影響で作業の遅れが心配されたが、急速な融雪により、田植え作業は5月24日から始まり、その後の生育状況は順調である。

（中空知平均で平年より3日程度進んでいる。）

④雨竜町〔菅原産業建設課長〕

国営樺戸（二期）地区に関する事業として、国営農地再編整備事業雨竜暑寒地区について、平成21年から地区調査を進め、平成25年度着工を目指して要請しておりましたが、近年の国の農業農村整備事業予算の推移から難しい状況でありました。またこの間、従来中山間地域型の事業として計画していましたが、10%以上の地目変換の要件のない、国営緊急農地再編整備事業での可否についての検討がされ、本町においても事業化が可能とされたため、この国営緊急農地再編整備事業に移行することとなりました。

そうしたことから、国の厳しい予算状況とともに、事業の移行のための調査もあり、平成26年度の着工を目指して要請をしているところです。

また町では事業費の市町村ガイドライン負担分を確保するため基金を創設していますが、平成22年度は1億円、平成23年度は3000万円の積立を行いました。

道営農地基盤整備事業では、平成23年度で1地区完了、本年度は3地区が継続、さらに1地区が新規着工となっています。

○質疑応答

Q 1（札幌開発建設部）：

各町における営農等で渇水の懸念が報告されているが、水道に関してはどういう状況なのか。

A 1（水道企業団）：

現時点で昨年と比べて若干低い水位となっているが、平成20年のような対策を行うような状況までは至っていない。

○とりまとめ〔座長〕

今年度中に試験湛水が予定されており、今後は完了及び管理に向けて皆さんと色々な調整を行っていかねばならないと考えておりますのでよろしくお願い致します。

今回の「徳富ダム建設工事共同事業者連携会議」で、事業の状況と今後の見通し及び各事業者の平成24年度実施計画概要、事業に関連した地域情勢について情報共有が出来たと思います。また、ダム完成に向け関係機関が協力することが確認できました。「徳富ダム建設にあつては、今後ともコスト縮減に努め、早期の完了に向けて事業を着実に進捗する。」ことと致したいと思います。如何でし

ようか。

――異議なしの声――

ありがとうございました。

4 今後の予定〔事務局より報告〕

情報公開方法についてですが、議事要旨及び配付資料の公開は、連携会議構成員の確認を得て、速やかに施工主体である北海道開発局札幌開発建設部のホームページに掲載し、共同事業者等は、各自のホームページ上に、上記ホームページのリンクを張り付けていただくようお願いします。また、関係4町は、広報に上記ホームページのURLを掲載する一方、各役場の掲示版等に議事要旨及び配付資料を掲げて頂くようお願い致します。国の実施事業所である樺戸農業開発事業所においても希望者に資料を配付する体制を整えることとしたいと思えます。

5 その他〔座長〕

提案など何かございませんか。

――特になしの声――

6 閉会

それでは、以上を持ちまして第12回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。